

月刊食糧ジャーナル

24~29

特集 《連載第304回》

コシヒカリを超えるコメ お米で日本を元気にするプロジェクト始動 「ごはん食」の健康価値発信の時

30~37

シリーズ／新体制整える卸各社の新戦略

- ①ミツハシ／「お米ライフで、世界をわくわくさせる」
再生産可能な米価と需要拡大へ。多様な付加価値商品を開発提供
- ②ヤマタネ／農業法人(株)ブルーシード新潟設立。持続可能な高収益営農モデルに
創業百周年記念企画、東京・深川の「新芽の便り」店舗でこども食堂スタート
- ③神明ホールディングス／新PRキャラクター発表、GMにチョコレートプラネット
- ④沖縄食糧／沖縄・宮古島次世代へ「ロウ層除去玄米」供給
産官学連携で肥満児問題解決へ。「医食同源」「未病」のアプローチ

64~69

サタケニュース／

- ①醸造精米技術「真吟」を国際発酵・醸造食品産業展に出展
- ②米品質診断パッケージを特別価格で提供するキャンペーン
- ③「クリーン精米屋」を地元(東広島市)の要請を受け出店
- ④天候に応じた上手な乾燥・調製作業をホームページにアップ
- ⑤JAグループ栃木の「パワフルアグリフェア」にSAXESなど展示

22~23

■**今月の視点**／7月の相対取引価格1万5626円
前月比2%下落。前年同月比13%高

カ ラ ー 特 集

16~17 | **岩手米** 「田んぼアート」で大盛況、大谷翔平の故郷・岩手県奥州市

ワイド構成／産米特集

- 38～41 **秋 田** 消費地の期待高まる6年産。生産技術対策徹底し安定供給へ
JAグループ秋田、「サキホコレ」研究会現地講習会を開催
- 42～45 **北海道** ゆめぴりか良質米出荷「優秀表彰」5年連続受賞者
「ゆめぴりかの匠」として表彰。地下鉄広告で消費者にも訴求
- 46～49 **宮 城** 出穂期は平年より3日早く、生産対策とともに食育にも力
JAグループ宮城、「米消費拡大」から「生産費減」まで
美味しさそのまま、エコで時短!無洗米キャンペーン展開
- 50～53 **青 森** 登熟後の気温が昨年より低くて期待される6年産の品質と食味
「2024クリーンライスレディあおもり」決定。青森米を県内外にPR
- 54～57 **千 葉** 6年産米の初検査が8月上旬から始まる。全量1等米に格付け
各品種の生育は平年より5～7日程度早く品質は今年も良好に
- 58～59 **山 形** 発信力を強化し高温対策浸透。6年産に向けて徹底した取り組み
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部が「緊急注意喚起情報」
- 60～63 **福 島** JA会津よつば／常にシンカ(進化・深化)しジャパントップブランドに挑戦
高温下での栽培に合わせ対応変化。実肥の実施もほ場ごとに検討
会津17市町村トップセールスと「会津ものづくりフェスタ2024」開催
- 70～71 **第6回国際和食産業展(東京ビッグサイト、7月30日～8月1日)**
日本食向け食材・調理器具が一堂に集まる専門展。お米パビリオンでPR



※月刊「食糧ジャーナル」のご送付に使用いたしましたご購入者の皆様の個人情報は、ご送付以外の目的では使用いたしません。
今月の表紙／ベゴニア